

た責務は重い

90周年記念特集

河野紀巳 昭和22年卒

引き継がれる 三世 三星魂

生まれは昭和4年、物心ついた頃は第一次世界大戦後の大不況で「大学は出たけれど職は無し」と言われた時代でした。満州事変、日華事変と戦況は拡大し、小学6年の時、大東亜戦争が起こり戦時色は濃くなり、鹿屋中学校の入学も推薦入学の3組で150人でした。

1年生、2年生までは授業がありましたが、飛行機の爆音が静まるまでは授業は中断の繰り返しでした。3年になると人手不足で勉強どころではなく、学徒動員で海軍工廠で働いておりました。

戦争が終結し、上司の海軍中將から「各人各家庭に帰り人間らしい生活をして下さい」と言われたのが今の平穏な世の生活のことだったのでしょ。

通学は高山から鹿屋までの超満員の汽車通学でした。背の低い1年生は酸欠で顔色が悪くなり、窓を開けて涼しい風に当てて元気を取り戻して学校に行くような状態でした。下級生の中には尊敬する先輩の為に席に座り、途中から乗る先輩に席を譲る習慣もあり、『稚児主と稚児』と言っておりました。

学業の方は中間試験で平均98点でも10番内に入らず、平均60点以下か、50点以下が3科目あれば落第と聞いておりました。

私たちが旧制の中学の最後の卒業生で新制の3年生に進級もできましたが卒業しました。

進学のために垂水汽船で鹿児島市に行ったら港から照国神社の鳥居が見えており、焼野原になった戦争の悲惨さをしみじみと感じました。

成人し垂水に移り住み子どもたちが鹿屋高校に通う時代になると、朝課外に間に合うように垂水から古江始発のディーゼルに乗るために各家庭車で古江駅まで送っていました。

その後、厚意の運送業者の呼びかけで学校までの通学バスが行く様になり大変助かりました。業者の方が言われるには、まるで空車を運転しておる様に皆寸暇を惜しんで車内で勉強しておられて鹿屋高校生の質の良さにうれしさを感じたと申しておられました。

人生の旅は思い通りにはいきません。時代の変革。世相の変換。それに順化して生きてゆかねばなりません。「人生とは何ぞや」幸せを「求む」の一言につきると思います。



三世代にわたり本校をご卒業された河野さんのご家族に、当時の思い出話を寄せて頂きました。お祖父ちゃんが卒業してから66年後に孫が卒業!! 時代は大きく変わりましたが、母校への思いは世代を越えても同じようです。

河野和孝 昭和56年卒

昭和53年、垂水中学校から鹿屋高校に入学してはや35年。

当時は1学年10クラスで約450名でした。とても個性豊かな人物が多く、今と同様にさまざまな行事があり、7時20分からの朝課外もあって忙しい毎日でした。

また、1年生の2学期に食堂ができたのでほぼ毎日利用していました。

入学時の健康診断で心臓肥大がわかった私は、毎週土曜日は授業を受けず病院に通いました。級友たちから休んだ日のノートを貸してもらったり、優しく大事にもらったりしたことを思い出します。おかげで卒業の頃にはすっかり健康体になりました。

東京の法政大学に進学し、教育実習では社会科世界史で母校に2週間お世話になりました。大学卒業後は名古屋の花屋に勤め、その後、実家の花屋の2代目として頑張っています。

結婚して娘が3人生まれ、長女は今年高校を卒業して現在大学1年生、次女が鹿屋高校3年生、3女は鹿屋東中学校2年生で鹿屋高校を目指しています。

父が高山から汽車で通い、私は垂水からディーゼルやバスで通い、娘たちは徒歩で通った鹿屋高校。

今年創立90周年を迎えた歴史ある鹿屋高校に、こうして三世代で関わる事ができたことを嬉しく思います。

河野史香 平成25年卒

私は鹿屋高校の第65期生で現在大学1年生です。

鹿屋高校での3年間はその時にしかできない経験をたくさんして充実していました。学校行事はどれも盛り上がり、特に自分たちで協力して作る三星祭は楽しかったです。

部活動はボートをしていました。勉強との両立が大変でしたが、高校時代に打ち込めるものができてよかったです。

夏休みに帰省して体育祭を見にいった時に多くの友達や先生方が「久しぶり!」「元気か?」と声をかけてくれ、懐かしく嬉しい気持ちになりました。

まだ卒業したばかりですが私にとって高校時代は大切な思い出です。

在校生のみなさん。鹿屋高校生は毎日が忙しくて大変だと思いますが、高校生活を楽しんでください。

文化祭 三星祭



今年も魅せた！

「三星祭」

今年の三星祭(体育祭・文化祭)は「Symphony」響かせよう 90年の歴史と我らの音色を〜をテーマに鹿屋高校創立90周年に合わせて開催。文化祭は9月20日(金)・21日(土)に開催。職員劇・親父バンド・PTA研修部のバザーなどもあり、生徒・職員・保護者がまさに一体となった文化祭でした。

各部門の成績は次のとおりです。

展示部門

最優秀賞 2年3組・2年6組

優秀賞 2年5組

ステージ部門

最優秀賞 2年1組

優秀賞 2年4組

バザー部門

特別賞 1年1組・1年3組

弁論大会

最優秀賞

3年8組 森園絢菜さん

文化祭を終えて

文化祭実行委員長

中野 寛之

僕にとって文化祭は学校生活で最も熱くなれる行事と言っても過言ではない。去年、僕は文化祭実行委員(文実)として働いたことをきっかけにそう思えるようになった。その時に音響の仕事をしている先輩を見て、胸を打たれた。それが僕が文化祭を好きになった理由だ。そして、今年の文化祭は僕が実行委員長をすることになった。それは嬉しくもあったが、本当に自分にできるのかも思った。僕は今まで人に指示することが全くなかったし、人からできるはずがないとも言われたからだ。でも僕は、実行委員長に挑戦しようと思った。それは、周りに文実をしてくれる友人がいたからだ。文化祭当日は、電源が落ちるなどのハプニングや音響のミスもあったが、二日目に前日のミスをカバーしてより質の高いものを作ることができ、文化祭を成功させることができた。そして、自分自身も成長することができたと思う。最後に、文化祭を盛り上げてくださった人達に感謝の言葉を述べたい。本当にありがとうございました。



Symphony

～響かせよう90年の歴史と我らの音色を～

体育祭は快晴の9月7日に行われました。90周年を祝う書道パフォーマンスや全学年応援団による鹿屋高校へのエールは見応えがありました。結果は黄組(3年)が赤組(2年)に競り勝って優勝。3年生の各競技での力強さと団結力が感じられた素晴らしい体育祭でした。



価値ある仲間

黄組団長

三年四組 小迫 大将

私は、三年生になり迎える体育祭が一番充実し、一番辛いものでした。三年生になり学業を最優先しなければいけないこともあり、限られた時間の中で三年間仲間と共に作り上げてきた集大成となる演技をしなければいけないという団長としての重圧もありました。

しかし、私は五十三人の応援団員そして五十四人目の応援団員である三年生一人一人に救われました。辛く苦しい時にこそ仲間と手を取り合い協力する大切さを学び自分は一人ではないことを教えられました。こんな素晴らしい仲間と優勝でき、団長をさせていただいたことは一生の宝物です。



赤組応援団

赤組団長

二年一組 成尾 春香

私たち赤組は、部活動の中心学年だったため、なかなか応援団員が集まらずに苦労しました。練習でも思うようにいかず、体育祭当日までどうなるか分からないという状況でした。しかし、体育祭当日の赤組の団結力は素晴らしいものでした。各種目にも一生懸命取り組み、90周年を祝い全員で作った「KANNOYA 90」という文字は全員の思いが詰まった美しいものになりました。惜しくも50点差で三年生に勝つことはできませんでしたが、「優勝」を目指して赤組全員で熱くなれたとても充実した一日となりました。



応援団長をして学んだこと

青組団長

一年一組 柳谷 将志

私はこの体育祭を自分が盛り上げようと思い応援団長になることに決めました。今回応援団長をしたことで学んだことがいくつもありました。その一つが全体をまとめる大変さです。応援団の練習を自分の考え通りに進めても、部活などの兼ね合いもあり全員で練習するのも難しい状況でした。そこでただ時間を長くするのではなく練習の質を上げてはどうかという先生のアドバイスを実践してみることにしました。自分の考えを貫き通すのではなく周りの人の意見を尊重することで全員で練習ができる時間がもて気持ち一つにして本番に臨むことができました。先輩方の偉大さを見せつけられました。最後に今までついてきてくれた一年生全員に感謝したいです。ありがとう。



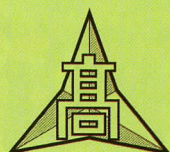
三星王道完成

進路指導部では、毎年学習指導係が中心となって、大学入試問題研究集を作成しています。これは市販の問題集とは異なり、本校職員が本校生徒が学ぶに適する解説をつけた問題集です。数ヶ月の検討を行い発行しています。教科によっては手書きの解説も「三星王道」ならではの!! 各クラスに配置され活用されています。

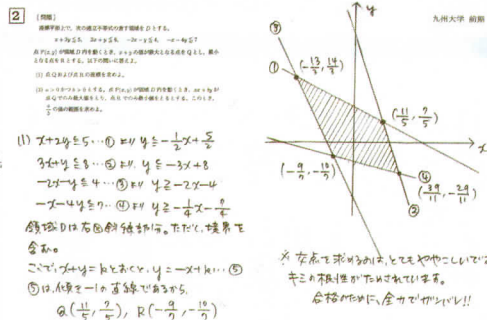
受験生のみなさん最後までがんばってくださいね。

平成25年度 大学入試問題研究集

大学入試の 三星王道



鹿児島県立鹿屋高等学校



部活青春の第2弾!!本校は28の部活と4同好会があり、仲間と身体・精神を鍛え、技を磨いています。日々の課題にも懸命に取り組む部活動生たち。今回は2つの部活とマネージャーの活動を集めてみました。
さあ、どんな青春を送っているのでしょうか。

部活青春だあー



演劇部

演じる理由

田原 楓

私が所属している演劇部は昨年度、部員が4人しかおらず、思うように舞台を作り上げることができませんでした。しかし今年度は部員が9人になり幅広いジャンルの舞台を作り上げることができるようになりました。そして十月には「曾於・肝属地区高校合同文化祭」にも参加することができ、貴重な体験をさせていただきました。演劇部が演じるのは大会で結果を残したいというのがありますが、一番の理由は観客の皆様楽しんでいただくためです。笑いや涙、感動をより多くの方に届けるために演じています。そのためだけに役者だけではなく、裏方も練習を重ねています。これからのため、努力していこうと思います。



茶道部

茶道の魅力

安部 弥月

茶道部は週に一回、茶道の先生に来ていただき作法を教えてもらっています。文化祭でも先生の御指導の下、毎年茶会を開いています。今年も沢山の方々にお茶を楽しんで頂きました。茶道の魅力は美しい所作による凛とした格好良さにあります。しかし、作法を間違えてもそれにこだわらず、背筋を伸ばし姿勢よくお茶を点てることで和の心は充分感じるようになります。茶道を通して、日本人として正しいお作法を身につけつつ伝統文化を学びたいと思っています。三星会館二階の間、茶道部へ是非見学にお越し下さい。

マネージャー特集

男子バレー部

男子バレーにささげる思い

東倉 里歩 下小野田美優

松島 瑞季

私たち男子バレー部マネージャーは、十六人の選手と共に日々バレーにはげんでいます。平日の練習では主にボールわたし、キーパづくり、道具の準備などをしています。休日の練習はこれに加えて部室の掃除やタイムなどもします。時には選手と一緒に声出しやストレッチもします。又、試合の時はスコアブックに記録をしたり選手の身の回りのサポートに努めています。



の為に出来ることはないかと考え十六人全員分のミサンガにメッセージカードをそえて試合当日にプレゼントしました。結果は目指していたところには届かなかつたけれど私たちの思いは届いたんじゃないかなと思います。これからの大会では今以上の良い結果を残せるように三人で力を合わせて全力でサポートしていきたいです。

水泳部

すべては選手のために!

一松 千紘 了徳寺くるみ

橋口 涼花 新保 紅

私たち水泳部のマネージャーは毎日、選手のサポートをがんばっています。水泳部は夏に主な大会があるので夏の時期は忙しいですが、とても充実した日々を送っています。また、仕事内容は飲み物を作ったり、タイムの計測・記録や用具の整理・整頓です。冬は主に筋トレをしています。回数数を数えたりしています。

水泳部は個性豊かなので普段の練習の時はにぎやかですが、大会になると目つきが変わっていい結果を残すので嬉しくなるし、水泳部のマネージャーをして本当によかったなと思います。これからも選手のサポートを一生懸命頑張りたいと思います。



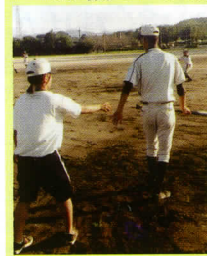
野球部

野球部マネージャーとして

水口 彩紀

学校が終わって炊飯器を持ってすぐにグラウンドに行き、飲み物の準備をし、おにぎりを握ってノックのボールの受け渡しに入り、洗濯やゴミの分別をするのが日課です。部員は45人で、マネージャーは私を含めて2人です。

私がマネージャーになった理由は、野球をしていた父の影響です。とても楽しそうに野球の話をする父をみて私は野球という世界をマネージャーとして経験したいと思いました。周囲の方々は、仕事が大変ではないかと心配してくれませんが、野球部の選手達の頑張っている姿を見ると私も今以上に頑張れるパワーをもらえる気がします。まだまだ未熟ですが、目標の甲子園に出場できるように皆で頑張ってください。くので応援よろしくお願いします。



母親研修会 — 朝食は「金。」—

10月17日(木)に市P連母親研修会が開催され、鹿屋市食育サポーター・杉山朝子先生の講演が「今一度見直そう 朝ごはん」という演題で行われました。

朝食は1日のエネルギー源で、朝食がもたらす効果、学力・体力におよぼす影響はとても大きく、朝食は金・昼食は銀・夕食は銅と言われるほど重要視されているといった内容でした。

そして、講演後は栄養バランスのとれた手作りふりかけのレシピの紹介と試食会がありました。グループ討議も行われ、各家庭の朝食の様子など意見交換をしました。「食」という字は人を良くする、と書きます。

今回の講演会を通して、改めて朝食の重要性・食べることの楽しさを考え感じる事ができたひとときでした。

市P連母親研修会



文化祭PTAバザー(パン販売)

9月21日(土)研修部による文化祭PTAバザーが行われました。

7月の研修部会で詳細を話し合い、前年度と同様にオレンジブルとロンドンパン、メロンパン、むらさき芋パン、ピザパン、プリンパン、ウインナーパンなど約20種類のパンとお茶やジュースの販売を決めました。

文化祭の当日は、ペットボトルを氷水で冷やしたり、値付やポップのはりつけ、おつりの準備などを全員で分担し11時前にはスタンバイOK!!

いざお客様が来始めると、みるみるうちに長蛇の列ができ、にわか販売員の私達は、袋に入れる手が震えたり簡単な暗算もできなくなったりと、ハプニングもありましたが、数時間の間に研修部員同志で話したり笑い合ったり交流が深まりました。

用意したパン750個、ペットボトル288本をなんとか完売し、約3万円の収益を生徒会へ寄付することができました。

売上に協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

又、研修部の皆さんも、朝の準備から夕方方の片付けまで長時間お疲れ様でした。

下八重 明



PTA NEWS

PTAミニバレー大会

ニュースとしては遅きに失した感がありますが、7月21日(日)PTAミニバレー大会が行われ、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。試合の合間にはお茶を囲み、夜には懇親会も行われ、冷たいビールでのどを潤し、親睦を深めました。

優勝

3年5組

(市P連バレー大会出場)

準優勝

1年5組

3位

2年4組・2年6組

結果



PTA新聞65号発行に当たりましては、ご寄稿いただきました方々をはじめ、写真・資料の収集など、多くの皆様のご理解・ご協力をいただきましたこと心から感謝いたします。内容に関するご意見・ご要望等ございましたら、広報部員までお知らせください。

編集後記

児嶋・上床・黒原

担当職員
1-7 船迫

担当副会長
2-4 新保

1-8 長谷

1-5 猪野

1-4 有馬

1-2 市来

2-8 鵜瀬

2-7 小濱

2-4 今釜

2-4 久保園

2-4 郷原

2-2 竹之下

2-1 田中

2-1 安部

3-1 河野

3-1 新原

3-1 西園

広報部員